



令和6年度

岐阜県野生動物管理推進センター 連続講座

専門家による野生動物管理の最新の研究成果を踏まえた講義を通じて、野生動物との正しい関わり方や被害防止対策について学びます。

対象：一般県民の方・行政関係者（1回のみ参加も可能です）

第1回 令和6年**12月19日** **木** 13:30 ▶ 15:40

講演1 人獣共通感染症対策としての
野生動物管理の可能性

亘 悠哉 氏（国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所）

講演2 養豚場における野生動物対策の重要性
～豚熱の事例から

七條 知哉 氏（岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター）

場所 岐阜大学応用生物科学部104講義室（岐阜市柳戸1-1）

定員 100名（先着順・無料）

申込締切 令和6年12月17日（火）18:00



第2回 令和7年 **1月23日** **木** 13:30 ▶ 16:10

講演1 シカによる林業被害を軽減する
獣害防護施設の機能を維持するためには

岡 輝樹 氏（国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究 四国支所）

講演2 伊吹山の事例から学ぶシカの生態と被害

森 智基 氏（岐阜県野生動物管理推進センター）

場所 岐阜大学応用生物科学部101番多目的ホール
（岐阜市柳戸1-1）

定員 100名（先着順・無料）

申込締切 令和7年1月21日（火）18:00



第3回 令和7年2月12日 **水** 開催予定

詳細は後日、センターHPに掲載します。



主催：岐阜県野生動物管理推進センター

共催：岐阜県域農林業教育システム

この講座は「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用して開催します

第1回 ▶ 人獣共通感染症対策としての 野生動物管理の可能性

講師：亘 悠哉 氏

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所 主任研究員

東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。パリ第11大学博士
研究院、日本森林技術協会専門技師などを経て2015年より現職。

専門は外来種問題。2003年より奄美大島のマングース問題をテーマに
研究を開始し、マングースが引き起こすインパクトや、マングース対策
による希少種の回復を明らかにした。

現在は、人獣共通感染症対策としての野生動物管理の重要性に関心を
持ち、ネコ由来人獣感染症のトキソプラズマの野外における伝播サイク
ルの解明やマダニ媒介性感染症のリスク評価にも取り組む。

▶ 養豚場における野生動物対策の重要性 ～豚熱の事例から

(七條知哉研究員/ 岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター)

第2回 ▶ シカによる林業被害を軽減する 獣害防護施設の機能を維持するためには

講師：岡 輝樹 氏

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所 四国支所 支所長

1995年JICA長期専門家としてインドネシアに渡り類人猿の社会進化
を研究、1998年から日本学術振興会COE特別研究員として京都大学霊
長類研究所に在籍。2001年より（独）森林総合研究所東北支所主任研
究官。この年のツキノワグマ大量出没を機に野生動物管理学に携わる。

その後、（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所 野生動物管理
担当チーム長、鳥獣生態研究室長、野生動物研究領域長を経て現職。動
物生態学的視点からだけでなく、社会心理学、行政学的観点から野生動
物による被害管理の進展とその社会実装に挑戦している。

▶ 伊吹山の事例から学ぶシカの生態と被害

(森智基特任助教 / 岐阜県野生動物管理推進センター)

